

研修受講報告

令和4年10月11日

- I. 研修名 : 市町村議会議員研修[2日間コース]
「自治体予算を考える」
- II. 主催者 : 全国市町村国際文化研修所 (J I A M)
- III. 受講日時 : 令和4年8月18日 (木)、19日 (金)
- IV. 研修会場 : 全国市町村国際文化研修所
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
- V. 受講者 (報告者) : 藤原秀樹、森脇久夫 (研修参加者は全体で74名)

VI. 研修概要 :

1. 開講式・オリエンテーション (8/18 12:30~12:50)
2. 講義 「自治体予算を考える」 (8/18 13:00~16:30)
J I A M客員教授・武庫川女子大学経営学部教授 金崎 健太郎 氏
 - 1) 自治体予算の原則
 - 2) 歳入予算の基礎とそのチェックポイント
 - 3) 歳出予算の基礎とそのチェックポイント
3. 意見交換会 (8/18 16:45~17:30)
事前調査のあった参加希望テーマについてグループに分かれて、意見交換等
意見交換テーマ
 - ④ 住民への広報 : 藤原 秀樹
 - ⑥ 歳出の効率化 (アウトソーシング、I C T利用など) : 森脇 久夫※その他のテーマ (全体で6テーマ)
 - ① 予算審議のあり方 ② 決算審査や事業の評価 ③ 財源確保策
 - ⑤ 公共施設の老朽化対策
4. 講義 「自治体予算を考える」 (8/19 9:25~14:10)
J I A M客員教授・武庫川女子大学経営学部教授 金崎 健太郎 氏
 - 4) 財政の現状把握~地方公会計の活用~
 - 5) グループ討議発表
 - 6) 質疑
5. 研修アンケート記入・閉講 (8/19 14:10~14:25)

Ⅶ. 参加者所感 :

藤原 秀樹

今回の研修テーマは「自治体予算を考える」で、まず、予算は行政サービスの内容を決めており、現在の納税者に対して行政サービスを行う事が基本で、会計年度独立の原則の為、2か月の出納閉鎖期間があること、予算の発案権は長にあるが、提出した予算の趣旨を侵さない限りにおいて修正ができることを学びました。

予算は地域の課題解決や住民のニーズを反映させ、決算にて課題解決ができているかなどをしっかりと審査しなければならないと思いました。私も決算をしっかりと審議し、次年度への予算に審議に活かしていきたいと思います。

グループ討議では石川県能美市、大分県玖珠町、広島県熊野町の各議員と私の4人が一つのグループとなり、住民への広報をテーマに討議しました。

西脇市議会では、市内80の自治会に対して議会報告会を開催していると発言すると驚かされていました。議会によっては、議会報告をされていないところや以前は実施していたがやめたところ、数回のみ実施されているところなど様々で、議会だよりも発行していない議会もありました。また、議会だよりの編集についても、事務局がほとんどしているところや議員自らがしているところなどがありました。

住民への広報活動は繰り返ししっかりと検証しながらしていかなければならないと思いました。

各議会の状況を聞いていると西脇市議会は住民への広報活動は頑張っている方だと思うが、あまり住民にはしっかり伝わっていないのか、議員への信頼は低いように思います。自分自身ももっとしっかり議員活動を続け、活発に議論や提案をし、広報や課題解決にも頑張ります。

森脇 久夫

今回の研修で、自治体予算の原則を学び、予算の意義・種類・ルールや予算編成から成立・執行までのスケジュールを含めての流れを詳しく知ることができた。

また、予算審議では歳出における各事業の内容のチェックだけでなく、歳入も含めた予算全体への視点、健全な財政運営の視点での審議の重要性を理解することができた。

財政診断は、決算がベースとなっているが、診断は類似団体など他団体との比較で行うとのことで、具体的基準がなく、市民の方に説明する場合には類似団体であっても他自治体との比較ではその妥当性の説明は難しいのではないかと感じた。

グループ討議で一緒になった長野県上田市、大阪府泉南市、大分県玖珠町の各議員と「歳出の効率化（アウトソーシング、ICT利用など）」をテーマに意見交換したが、西脇市を除く3自治体では議案など会議資料は貸与されたタブレットへの送付・利用とのことで、紙での配布は行っていないとのことであった（玖珠町は、昨年度からタブレット導入でまだ紙資料との併用中）。

また、玖珠町・大野議長から玖珠町は教育レベルを向上させ、地域から出ていく子どもを減らす・戻ってきてもらう取り組みとして、町が塾経営を民間に委託しているとの話を伺った。

全体講義中に講師からタブレット利用議会の確認があったが、2/3以上の参加者がタブレット利用に挙手しており、議会でのICT利用がかなり進んできていると感じた。

タブレットを利用されている玖珠町・大野議長に、予算審議では「資料が多くなるためタブ

レットでの不便はないか」などを尋ねたが、画面に2ページ表示すると小さすぎるがA4の1ページ表示では紙と差がないこと、画面上で資料に専用ペンで追記でき、それが保存できること、説明箇所については、事務局からの操作で画面が切り替わるようになっており、議員が書き込みを行って説明等が先に進んでもすぐに追いつける、議案等資料は事務局からの送付でタブレットにデータとして入れられるので議員自身は操作を行う必要がなく、紙ベースの資料より保存にスペースも不要になった上、タブレットさえ持っていればどこでも議案を含め各種資料を見ることができるなど便利になったとのことだった。ただ、タブレットが大きく重い、貸与のため破損しないように注意を要するとの話を聞くことができた。

講師からは紙からタブレットに置き換えて紙削減の効果だけを求めるのではなく、議会事務局も含め業務全体の見直しを行っての導入が必要との指摘があった。

いずれにしても、学校でもICT導入を進めており、西脇市議会においても業務の効率化のために執行部と一緒にタブレット等ICT導入の可否を含め検討が必要と考える。

これから決算の審議を行う際には、次年度予算につながるよう今回の研修受講を生かしていきたい。

以上

(報告まとめ) 藤原 秀樹